

～マスクの耳痛守ります「耳を守りマツチヨ」近く商品化～

新型コロナウイルスの感染拡大で需要が高まっているマスクだが、長時間着用すると耳が痛くなるという人も多い。そんな人のために、兵庫県在住のイラストレーターの男性が、耳にかけずに後頭部でマスクのひもを引っ張るユニークな形の留め具を開発した。その名は、「耳を守りマツチヨ」。筋骨隆々の人形が腕筋でひもを支える姿が話題を呼び、近く商品として販売される予定だ。

開発したのは、「マツチヨ箸置き」や「マツチヨ卵スタンド」など、数々の筋肉作品を製作してきたイラストレーター、斉藤幸延さん(44)＝同県明石市。

新型コロナウイルスの感染拡大に加え、花粉症のシーズン入りなどに伴い、「長時間マスクを着けていて耳が痛い」という声を多く目にしたことから、緊急事態宣言後の今月9日から製作を開始した。

留め具は縦約7センチ、幅約9センチ。パソコンでデザインし、3Dプリンターで立体化した後、表面に樹脂を塗装して作製した。筋肉ムキムキの男性をかたどったものだが、実は幼い頃から「筋肉の造形美に魅せられ」、現在も週4回は筋トレに励むという斉藤さんが理想とする体形をイメージしているという。

11日、試作品の第1弾の写真を公開すると、「欲しい」「笑いが止まらない」などの声が相次ぎ、大きな反響を呼んだ。

「過酷な現場で働く医療従事者が使えるものに仕上げたい」と、知人の看護師に協力を依頼。試作品を送り、使い心地などを聞きながら、現在改良を重ねているという。色はシルバーやブラック、薄いピンクなど約5色を想定しており、5月上旬にも通信販売する予定だ。斉藤さんは「新型コロナウイルスで暗くなる世間の雰囲気払拭できるようなものを作りたい。マツチヨがそばにいる安心感を感じながら、健康に過ごしてもらえれば」と話している。

〈感想〉

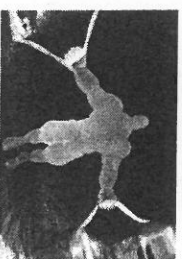
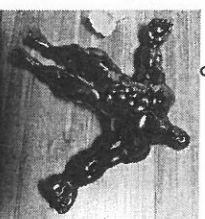
○声に出して読む。

○分からない言葉(読み方・意味)は、赤線を引く。

○記事の内容、読んだ感想を文章で書く。

声に出して読む

⑦



名前
〈内容〉